

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調書

都道府県名	埼玉県	事業実施主体	埼玉県、秩父市	地域再生計画名	人と自然が共生できる活力のある環境づくり計画
計画期間	平成22年度～平成26年度	評価責任者	埼玉県農林部長	秩父市地域整備部長	

	指標		基準値		中間目標値			最終目標値			事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	間伐の推進(5年間の間伐の累積面積)	—	—	—	—	—	2,000ha	H22～H26	2,242ha	○	林道整備や林業担い手確保などの施策の効果により、目標を達成した。
	指標 2	狭隘な市道の整備による地域住民の安全・快適実感率の向上	0	H21	—	—	—	80%	H26	96%	○	住民の安全・快適実感率をアンケートにより調査した結果、0%→80%の目標に対して0%→94%の結果が得られ目標を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1											
	指標 2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度(H)	最終実績							
	特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）	2.6km	—	1.3km	整備計画6路線中3路線については整備が完了でき一定の評価を得ることができたが、残りの3路線については用地取得や工事内容の変更等による遅れが発生している。次期計画により引き続き事業を実施し早期完成を図る。						
		林道整備事業（整備延長）	10.0km	—	7.8km	林道整備により、今まで森林施策が困難であった地域について、森林へのアクセス改善が図られた結果、間伐面積の増となった。まだ地域内には多くの手入れの遅れた森林があることから、引き続き事業実施を行いたい。						
	その他の事業	林業体験等の取組・林業技術講習会等の担い手の確保事業	地域住民等へのPRとともに、技術技能向上等担い手の育成、受け入れの体制整備を実施。 また、林業に関連する研修を支援し、林業の担い手として必要な知識、能力の向上を図った。			地域住民等へ、森林・林業の社会的意義を積極的にPRするとともに、林業従事者に対し、研修の支援を行い、新たな担い手の確保を推進した。 また、各種研修の受講が進み、林業の担い手としての知識や能力の向上が図られた。						
		高性能林業機械の導入等の作業の合理化を図る事業	高性能林業機械等の導入に対して一部を助成。ハーベスタやフォワーダ等の高性能林業機械の導入を推進。			森林組合等、林業事業体に対して助成を行い、高性能林業機械の導入を推進した。このことにより、計画期間内に木材の伐採・搬出の作業をより効率よく、安全に実施できるようになった。						
	計画外で独自に実施した事業											
	④評価方法	事業実施主体で、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。										
⑤事後評価の公表方法	秩父市のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では市道整備と林道整備を一体的に実施し、狭隘な市道整備による安全・快適の実感の向上と、林業振興の効果を発現できたと考えている。なお、市道整備については、整備が完了した路線については一定の整備効果を得られたものの、整備計画予定の6路線中3路線が、工事内容の変更や用地取得の難航により計画期間内に完了する事が出来なかった。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画では、市道の改築による交通環境の改善や林道整備による森林環境の改善がみられたが、広い面積を有する地域であるため引き続き道路網の整備が必要である。今後も継続的に道路整備を行う事により貴重な森林資源を活かした林業振興の促進及び森林環境の改善を図るとともに、地域住民の利便性及び安全性を向上させ、道路環境面から地域交流人口の増加に貢献し地域の活性化を目指したい。											